

ワクワクする時代。党・芸術・ジェンダー、大いに語りたい

衆院比例予定候補オンライン会議・こむら潤さんの発言（大要）

17日に行われた衆院比例予定候補のオンライン会議（党中央委員会主催）での、こむら潤・比例近畿ブロック予定候補の発言（大要）を紹介します



壁がないことに驚き

尼崎の現職市議員ですが、国政では新人です。

私が市議員で頑張ろうと決意をしたのは、安保法制が通ろうとしたときに、シールズやママの会の皆さんが立ち上がって、あれほどの大きなデモを繰り広げた。私は2013年に入党はしていたんですが、なかなか活動に踏み切ることができなくて、PTAの会長をやっていたこともあって、政治的な活動を表に出せなかったんです。でも今そんなことを言ってる場合じゃないと感じて、私も勇気を出して一歩前に出なければという気持ちで踏み込んだのがキッカケです。

思い切って政治に携わってみると意外なほど周りの皆さんは温かく応援を下さって、共産党との壁は本当にありませんし、「どうして私はあんなに恐れていたのだろう」という感じるくらい勇気や元気をもらいました。

検察庁法改正案に対して国民の皆さんの中から「抗議します」の声が大きく広がっていったこと、著名人の方も躊躇なくその声に賛同している姿というのを見て、時代がどんどん変わってきているんだなと実感し、ものすごく展望を抱いているところです。市民と野党の共闘が、いよいよ大きなうねりをつくり始めたのではないかなと確信しています。

国民の思いと響きあっている

そんな中で「共産党をもっと知りたい」「共産党はどんなところなの」という思いと、私たちの側からの「知ってほしい」という思いが通い合っているときに来たのではないかと思います。本当にワクワクする時代が来ていると思います。

「特別月間」に入る少し前なんですが、息子さんが宮本たけしさんの大阪12区補選の応援にボランティアで行かれたということで入党のお誘いに支部の方と伺ったんですが、息子さんはお留守でお母さんが出てこられまして「息子の事はわからないけど私は入ってもいい」と、すんなりその場で決意を下さいました。このお母さんは、私と同世代、真ん中世代に当たるんですが、「本当に今、政治を変えないといけませんよね」と真剣な顔でどんどん話をして下さるというような体験もありました。

先週、尼崎にこくた（恵二）さんと倉林（明子）さ

んに来て頂いて街頭演説したんです。このときにビックリしたんですが、高校生の女の子たちがデッキのところから手を振っ



て下さっていて、演説が終わってからわざわざ階段を降りてきて「頑張ってくださいーい！」ってエールを下さったんです。おまけに「セルフイー撮っていいですかっ」て自撮りで一緒に撮って頂いて、驚くやら嬉しいやらでした。その他にも男性・女性関わらず学生さんたちの反応がものすごく明るくていい反応が返ってくる、若い女性の皆さんも手を振って下さるような、明らかにいい反応が返って来ました。もっともっとしっかりと日本共産党のコロナを乗り越えていく7つの提案をお知らせしなければと思っています。

SNSも活用していこうと思っているんですが、私たちの思いをできるだけ多くの皆さんとたくさんシェアしていくというところに重点を置きたいなあと思います。

文化・芸術を大切に作る国に

私は政治の仕事をする前に、もともとは芸術文化の分野の人間でして、デザインや美術の先生をしたり、バリ舞踊のインストラクターをしていました。昨年まで走っていた明石の市バスは私のデザインでした。今回コロナの中で、芸術や文化の分野は、本当にひどい状況になってきています。こうした芸術や文化がなければ私たちの生活は本当に味気ないものになってしまいますし、生きて行く喜びであったり、支えになっている部分でもありますので、芸術・文化をしっかり守っていく共産党の政策としても大いに語っていきたい。

そして、ジェンダー平等社会の実現を大きく打ち出して行きたいなと思っています。女性の悩みものすごくたくさん聞き、LGBTの方の話も聞いておりますのでこの分野でも頑張っていきたいと思っています。

20近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 50(2020.9.24)